

競 技 注 意 事 項

- 1 本競技会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・競技注意事項により実施する。
- 2 サブグラウンドは設けない。競技場内の空いているスペースでウォーミングアップを実施する。道路や駐車場などで行わない。
- 3 投てきは、競技開始前に本会場で練習を行う。
- 4 招集点呼について
 - (1) 本大会は招集所を設けず、直接、各種目の競技開始地点に集合し点呼を受ける。
 - (2) 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始 15 分前、フィールド競技は 20 分前（棒高跳は 40 分前）に招集完了とする。招集点呼は、招集完了時刻の 10 分前から開始する。
 - (3) 招集は本人が直接点呼を受ける。但し本人が競技中の場合に限り代理人を認める。招集時間に遅れた者は出場できない。
 - (4) 四種競技出場者は、第 1 種目の競技開始地点で競技開始 15 分前までに点呼を受ける。その後の種目については、競技開始の 10 分前に現地集合し、役員の指示に従う。
 - (5) 棒高跳の招集は開会式終了後、現地にて行う。
- 5 リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の 1 時間前までに本部記録まで提出すること。予選のオーダー用紙は学校受付で配布する。決勝については大会本部に置く。
- 6 男女 100m の予選はタイムレース予選とし、上位 8 名により決勝レースを行う。
- 7 男女 200m、男子 400m、男女 800m・1500m、男子 3000m は、男子 110m ハードル、女子 100m ハードル、4×100m リレーは、タイムレース決勝とし、上位 8 名を決勝成績とする。1500m、3000m については規定の人数を越えて競技を行う場合もある。
- 8 同記録の場合は、抽選で決勝進出を決定するが、同組の場合は着順優先とする。
- 9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りに決める。但し、状況により変更することもある。その場合の決定は審判長が行う。
 - ・ 走高跳 男子（練習 1m20） 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m58・・・以後 3 c m 刻み
女子（練習 1m05） 1m10 1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m38・・・以後 3 c m 刻み
 - ・ 四種走高跳 男子（練習 1m15） 1m20 ……以後 5 c m 刻み
女子（練習 1m00） 1m05 ……以後 5 c m 刻み
 - ・ 棒高跳
男子（練習 2m00, 3m00, 3m50） 2m00 2m10 2m20 2m30 ……以後 10 c m 刻み
女子（練習 1m50, 2m00, 2m50） 1m50 1m60 1m70 1m80 ……以後 10 c m 刻み
 - ・ その他のフィールド種目の計測ラインは設けない。
- 10 競技者は規定のアスリートビブスをユニフォームの背と胸につける。ただし、跳躍競技の競技者は背又は胸の片側だけでもよい。

〈式典次第〉 開会式は各校テント、閉会式は正面スタンドで実施

開会式	閉会式
<選手自校テント集合 8:35> 1 開会宣言（競技委員長） 8:40 2 優勝杯返還 3 開会のあいさつ 4 選手宣誓（選手代表） 5 競技上の注意・競技開始宣言 （審判長） 6 閉式通告	<選手スタンド集合 15:00（予定）> 1 開式通告 2 表彰 ・リレー種目 ・最優秀選手賞 3 閉会のあいさつ 3 閉会宣言